

辻 彰洋*: *Aulacoseira distans* (Ehrenb.) Simonsen の唇状突起と棘の形態について

Akihiro Tuji*: On the forms of rimoportulae and spines of *Aulacoseira distans* (Ehrenb.) Simonsen

はじめに

Aulacoseira distans (Ehrenb.) Simonsen は、1836年にChristian Gottfried Ehrenbergによって *Gallionella distans* Ehrenb.としてチェコのボヘミア地方Bilinの珪藻土から記載された。

*Aulacoseira*属は、SEMを用いた観察によっても、形質に乏しく、その区別が困難であった。そこで、殻内部の唇状突起の形態と位置に着目して、分類することが試みられつつある (Likhoshway & Crawford 2001)。

Crawford & Likhoshway (1999) は、Bilin, packet F (labelled: "Bilin, reiner Polierschiefer.") を本種のタイプとして用い、その微細構造を発表した。

今回、新たに別のタイプ試料を観察した結果、新しい知見が見いだされたので、報告する。

材料と方法

Ehrenbergの原図や標本については、娘であるClaraによる詳細な手書きのカタログがベルリン自然史博物館 (BHUPM) に残されている。このカタログから、EC drawings No. 650が *Gallionella distans* の原図で、そのマイカスライドは "K43 B5 (Bilin)" であり (Clara ECTI p. 56), "EC sample No. 2826 (Polierschiefer von Bilin)" が原試料である (Clara ECGI p. 182) ことが判明した。本原試料の瓶には、"1836, p. 56" という、*G. distans* の原記載を引用した紙が同封されており (Fig. 5)、これが、タイプである事は、間違いないと考える。

結果と考察

偽隔壁が発達し (Fig. 3)、唇状突起は偽隔壁から少し殻面よりに離れて複数存在する (Fig. 2)。

Crawford & Likhoshway (1999) が示した棘の見られない殻が大部分を占めるが、一部の殻に太

い棘を持った個体 (Fig. 4) と細い棘を持った個体 (Fig. 1) が見られた。棘の見られない殻に痕跡のような物が見られる (Fig. 3) ことから、本来本種は棘を持っており、堆積やその後の過程で棘が消失したと考えられる。この2種類の棘は結合棘と分離棘の可能性がある。Crawford & Likhoshway (1999) では、細い棘に相当するものは報告されていないが、彼らの標本では、この細い棘が消失した可能性がある。

従来、日本の *Aulacoseira pusilla* (FMeister) Tuji & Houki が *A. distans* と誤同定されることがあったが、唇状突起の位置や数、棘の形態が大きく異なることから明確に別種である。日本の現生の淡水域からは、著者の知る限り本分類群と明確に同定できる個体は報告されていない。

Crawford & Likhoshway (1999) のレクトタイプ指定については、彼らの用いた標本がタイプでなければ、優占権を持たない。しかし、Bilin産である事は間違いなく、彼らの試料と本タイプとの関係について、更なる検討が必要である。

謝 辞

本研究に当たってベルリン自然史博物館のDavid Lazarus氏に、多大のご協力を頂いた。この場を借りて御礼申し上げたい。

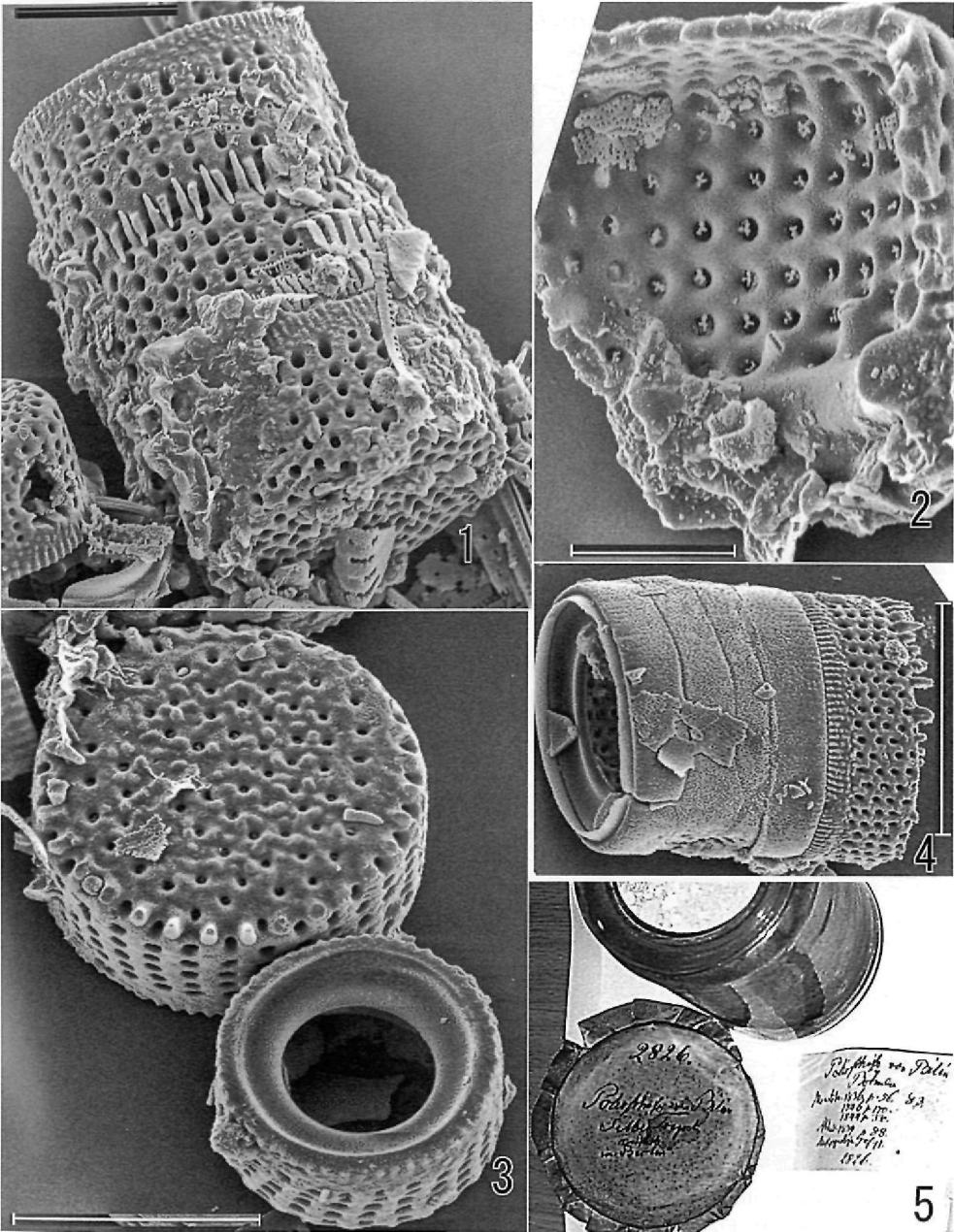
引用文献

- Crawford, R. M. & Likhoshway, Y. 1999. The frustule structure of original material of *Aulacoseira distans* (Ehrenberg) Simonsen. *Diatom Research* 14: 239-250.
- Likhoshway, Y. V. & Crawford, R. M. 2001. The rimoportula—a neglected feature in the systematics of *Aulacoseira*. In: Economou-Amilli, A. (ed.) *Proceedings of the 16th International Diatom Symposium*. pp. 33-47. University of Athens Faculty of Biology, Athens.

*〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館植物研究部

*Department of Botany, the National Science Museum, Tokyo, Amakubo 4-1-1, Tsukuba, Ibaraki 305-0005, Japan

Received 6 July 2006; Accepted 12 September 2006



Figs 1-4. *Aulacoseira distans* (Ehrenb.) Simonsen

EC sample number 2826 in BHUPM (Label: 2826. Polierschiefer von Bilin Silber Tripel [Knittich] in Berlin. Monatsb. 1836, p.56. 83. Microg. Taf. XD).

Fig. 1. Frustules with thin spines. Fig. 2. Several rimoportulae exist near pseudoseptum. Fig. 3. Valve face view and pseudoseptum. Fig. 4. girdle view. Fig. 5. The label of EC sample number 2826.